

21

Tokyo 21c Philharmonic

指揮

浮ヶ谷孝夫

Conductor : UKIGAYA Takao

ヴァイオリン

渡辺玲子

Violin : WATANABE Reiko

フンパーディンク

『ヘンゼルとグレーテル』

プレリュード(前奏曲)

Humperdinck Prelude Hansel und Gretel

メンデルスゾーン

ヴァイオリン協奏曲

Mendelssohn Violinkonzert ホ短調 作品64

ブラームス

交響曲第2番 二長調 作品73

Brahms Sinfonie Nr.2

2023 4 | 22 ⁺ 14時開演
(13時開場)

東京芸術劇場コンサートホール

S席:6,500円 A席:5,000円 全席指定
B席:3,000円 C席:2,000円 (消費税込)

— シニア特典 S席:5,000円 —

65歳以上の方にS席を特別価格でご提供致します。

※年齢確認出来る身分証明書を当日ご持参ください。

チケットのお求めは — 2022年12月20日発売

★日本アーティストチケットセンター

TEL 03-5305-4545

★東京芸術劇場BoxOffice

TEL 0570-010-296 ナビダイヤル
休館日を除く10:00~19:00

●チケットぴあ(Pコード:231-307)

<https://t.pia.jp/>●イープラス <https://eplus.jp>

●ローソンチケット(Lコード:33404)

<https://l-tike.com>

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※やむをえず出演者、曲目が変更になる場合がございます。

主催：一般社団法人 東京21世紀管弦楽団

協賛：三菱地所(株) ΔLBION セントラルインターナショナル(株) 西島(株) (株)ポマト・プロ (株)公文教育研究会 (株)日栄サービス(経営コンサルタント)



©matsui

©Yuji Hori



©matsui

指揮

浮ヶ谷孝夫

東京21世紀管弦楽団 音楽監督

Conductor : UKIGAYA Takao

1953年埼玉県川口市生まれ。世界の最前線でタクトを振る日本を代表する指揮者の一人。1978年に渡独してベルリン芸術大学指揮科のヘルベルト・アーレンドルフ教授に師事。カラヤン、ハンガリー、両国際指揮コンクールで受賞。1986年にはポメラニアン・フィル(ポーランド)のドイツ演奏旅行の指揮者に抜擢され、欧州でデビューを果たした。1987年より、同オーケストラの専属指揮者に就任。多数のドイツ演奏旅行やCD録音で高い評価を得ている。1989年より「ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団」と多数のCD録音。「ポーランド国立放送交響楽団」の専属客演指揮者。1996年に「ドイツ・フィルハーモニア・フンガリカ」日本ツアー。1999年に「北西ドイツ・フィルハーモニー」日本ツアー。2001年、2005年に「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」日本ツアー。2003年には同楽団の首席客演指揮者に就任。2010年より愛知県豊橋市の「豊橋青少年オーケストラキャンプ」を立上げ、毎年多くの演奏家の育成に尽力。2013年より東京都主催「歴史的建造物保全プロジェクト・マエストロ浮ヶ谷プロデュース・コンサート」を担当。N響、新日フィル、日フィル、東フィル、名フィル、東京シティ・フィル、東京ニューシティ管、日本センチュリー響などと共演し、多くのファンを持つ指揮者。2019年8月に東京21世紀管弦楽団の音楽監督に就任。ドイツ在住。



©Yuji Hori

ヴァイオリン

渡辺玲子

Violin : WATANABE Reiko

超絶的なテクニック、玲瓏で知的な音楽性、切れ味鋭い官能性と幅広いレパートリーで、世界のヴァイオリン界をリードする逸材。1984年ヴィオッティ、86年パガニーニ両国際コンクールで最高位を受賞。これまでに国内主要オーケストラはもとより、ワシントン・ナショナル響、ロサンゼルス・フィル、フィルハーモニア管、BBC響、ウィーン・トーンキュンストラ管、ロシア・ナショナル管などと共演して国際的に活躍。とりわけ、シノーポリ指揮ドレスデン・シュターツカペレ、サンクトペテルブルク響との共演はCDもリリースされ、大好評を博した。リサイタルでは、99年にリンカーン・センターにおいてニューヨーク・デビューを果たし、その後もラヴィニア音楽祭、イタリアのストレーサ音楽祭等に出演。近年は、バレエとのコラボレーションや現代作品の初演などの幅広い演奏活動のみならず、国際教養大学特任教授として英語による集中講義を行うほか、「子どもたちのためのレクチャー・コンサート」、ラジオ番組「渡辺玲子の弓語り」のパーソナリティーを務めるなど、教育活動や音楽の魅力を広く伝える活動にも取り組んでいる。CDは上記の協奏曲の他にも数多くリリース、いずれも高く評価されている。最新CDは「poetry」。05年エクソン・モービル音楽賞奨励賞、18年には世界で活躍する女性に与えられる「リコグニション・アワード2018」を受賞。

<http://www.reikowatanabe.com/>

東京21世紀管弦楽団 Tokyo 21c Philharmonic

音楽を通して、多くの人達と手を携え、今までの固定観念にとらわれない新しい時代の「楽しいオーケストラ」を目指して演奏活動を進めて行くプロフェッショナルなオーケストラとして2019年に設立。浮ヶ谷孝夫(ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者)を音楽監督に迎え、定期演奏会では、ベートーヴェン、ブラームス、ブルックナー、シューベルトといった重厚なドイツ音楽で圧倒的な成功を収めている。また、青少年のための音楽鑑賞会の依頼公演に出演するほか、教育的活動にも積極的参加し、多彩で幅広い音楽活動を展開している。クラシック音楽を広く普及させる自主公演、定期公演は東京芸術劇場を拠点とし、紀尾井ホール、サントリーホール、東京オペラシティコンサートホールなど都内の主要なホールで活動をしている。2019年オスカー新人賞を受賞したテノールのステファン・ポップ、オペラ界のビッグスター、ファン・ディエゴ・フローレス、ヴィットリオ・グリゴロ口との共演では好評を博した。2021年、オペラシティにて行われたベートーヴェン「第九」は、満席の聴衆を魅了し大成功を収めた。2022年第18回シヨパン国際コンクール第3位入賞のマルティン・ガルシア・ガルシアとの協奏曲の夕べを展開するなど、積極的に若いアーティストとの共演の機会を作っている。このほかミュージカル、バレエ、ポップスにも出演するなど活動の場を広げている。

お昼の **東京21世紀管弦楽団・弦楽アンサンブル**
Afternoon masterpiece concert
コンサート in 紀尾井 Vol.4
"室内楽の楽しみ"

2023 **6** **4** (日) 14時開演 13時開場 **紀尾井ホール**

フルート: 浮ヶ谷順子 Flute : Junko UKIGAYA

モーツァルト: フルートと管弦楽のためのアンダンテ ハ短調 V315

モーツァルト: フルートと管弦楽のためのロンド 二短調 KV184

バッハ: 管弦楽組曲第3番よりアリア

バッハ: ブランデンブルク協奏曲第5番

ヴィヴァルディ: フルート協奏曲「五色ひわ」二長調 RV428

ヴィヴァルディ: 「四季」より「春」

メルカダント: フルート協奏曲第2番ホ短調